

ニュース さよなら原発 第60号 2018. 1. 11 発行

さよなら原発ひたちなか市実行委員会

連絡先：ひたちなか市馬渡 2824-63 佐藤 英一 TEL:029-273-4775

ホームページ：<http://sayonaragenjipatu.wixsite.com/mysite>

とめましょう！ 東海第二原発の20年運転延長



村松虚空蔵尊でシール投票

初詣客に東海第二再稼働の賛否を問うと48人が投票。賛成2人（ボード左側）、反対44人（同右側）、分からない2人（最右枠）でした。（1月3日）

日本原電は、東海第二原発の運転延長の認可を今年11月までに得て、2021年3月には補強工事も完了させ、その後2038年まで東海第二の運転を続けると見られます。

補強を施しても、40年前の旧式の設計思想で造られたプラントであり、多くの部材も当時の古い製品が使い続けられていて、安全性向上には限界があります。

周辺5市長と東海村長は共同で、再稼働前に市村の了解を得ること（事前了解権）を求めて原電（株）と交渉中です。3月には合意との報道もありますが、事前了解権を必ず獲得してもらいましょう。

電力には余裕があります。昨年、電力を最も必要とした8月24日午後2時～3時の間でも全国の電力の供給には13.9%（予備率と言いき最低3%必要とされる）も余力がありました。世界では再生エネルギーが急成長し、日本の遅れが目立ちます（下図）。

東海第二原発とは？

東海村白方に立地し、発電能力は110万kW。1978年11月に運転開始し、今年で40年経過。沸騰水型原子炉では日本一古い。7年前の東日本大震災で多数箇所を損傷。（沸騰水型は東電、東北電、中部電など東日本に多い。）

従業員は324人。東海第二の保守点検と、廃炉中の東海原発の解体に従事。原発専門の日本原電（株）が保有。

同社は敦賀2号（福井県）の直下に活断層の存在を指摘した原子力規制委有識者調査団に対し、活断層ではないと主張し続け、その再稼働を目指しています。

今年こそ、皆さんの声で
東海第二をやめさせる年に
しましょう！！



急成長する世界の再生エネ発電

世界で2015年に導入された発電設備のうち

再生エネ設備が50%	化石・原発など50%
------------	------------

（2015年）（国際エネルギー機関）

世界と日本の再生可能エネ発電量の割合

世界 2016年	24%	
同 2040年（予測）	40%へ	
日本 2030年	22~24%	

発電コスト比較（kwhあたり）

世界の現状	太陽光発電	10円弱
	風力	8.8円
東海第二（再稼働後）		14円～（本会推計）

（11/14付け日経ほか）

古い「東海第二原発」は、廃炉が一番！
◇原発でできた放射能は、消滅する技術がなく、何万年も脅威です。
子どもたちにも、安全な未来を
◇原発廃炉へ、廃炉技術を磨くことこそ重要です。

ひたちなか市の

東海第二原発への 声 声

皆さんの **声・つばき**
お寄せ下さい。
TEL/FAX: 029-273-4775

那珂湊地域 70代・40代女性

会 員：放射線測定ニュースです。

70代女性：ご苦労様。

会 員：東海第二は今年11月で寿命の40年ですが、更に20年延長する手続きに入りました。事故が起きるとたまったものでないので、皆さんに配って歩いてます。

70代女性：孫たちのこと考えたら、原発の運転は、私は反対だね。避難出来たって子供達がいじめられるって言うじゃないの・・・。

40代女性：私も、再稼働はダメだわね。

会 員：そうですね、いのちってのは次の代の安全を考える事と言いますからね。

40代・70代女性：その通りだよ。頑張ってる。

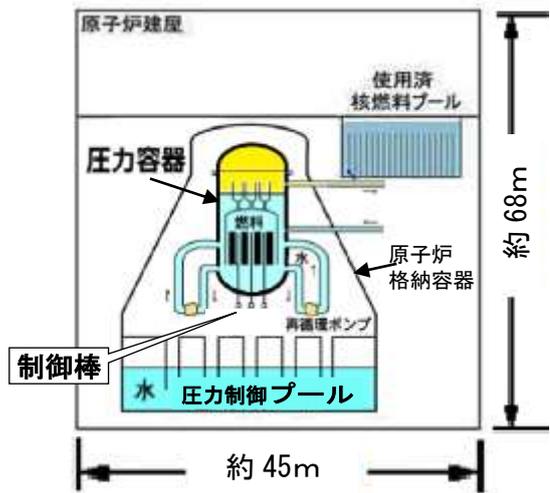
会 員：安倍首相がダメといえれば簡単なんですけど、原発推進だからね・・・。皆さんも知り合いの議員さんや県知事さん、市長さんに『原発の再稼働には反対だよ』と強く言ってください。今はそれが最良の方法です・・・。

70代女性：梶山大臣も安倍さんにはモノ言えないんでは、自民党の支持をそろそろ考えなくちゃならないかね・・・。

40代女性：・・・(脇でうなずいている)・・・。

東海第二原発 構造上の弱点

沸騰水型原子炉 (マークII型)



○図のカプセル状の部分が压力容器で、原子燃料が収まっています。核分裂によって70気圧、約280℃の熱水から蒸気をつくり、タービンに送ります。核分裂をコントロールする制御棒が底から出入りする構造のため、燃料が溶け出すと突き破られやすい(福島第一事故が好例)。

○压力容器の真下に、床をはさんでプールがあり、溶け出した燃料が落下すると、水蒸気大爆発を起こし、原発を吹き飛ばしかねない、と専門家から指摘されています。

放射線測定ボランティア・正治さんが、測ってみると？



2017 12/23 (土) ひたちなか市磯崎町「川子(かご)塚古墳」周辺。中央の電柱(東電・前浜2-68)から西に5mのサンゴジュの木から更に西に1m、高さ1mで測定。高さ5cmでは1.6 $\mu\text{Sv/h}$ 。写真右側の古墳の北側斜面にある高いコジイの枝先の高さ1mでは0.53 $\mu\text{Sv/h}$ 。写真外左手の林の東斜面、高さ1mで0.4 $\mu\text{Sv/h}$ 。

- 1) 単位は $\mu\text{Sv/h}$ (マイクロシーベルト毎時)。
*「2011年の原発事故」前は0.05~0.02 $\mu\text{Sv/h}$ 。
- 2) 測定器は HORIBA PA1000 Radi ; 測定者は正治。

セシウムからの放射線は測定を開始した2012年4月から3年後に約半分に減りました。今後は減り方がゆるやかになるので半減するのに約30年かかると推定されます。樹木の根元に濃縮されがちなので要注意です。